

・問題

つぎにかかげる 8 つの事項は、すべて、ある同一の世紀に関係している。それは何世紀か。また、その世紀における、これらの事項が関係する地域の特徴を論述せよ。その際、この世紀にみられるそうした特徴が、それ以後の発展に対してどのような歴史的影響を与えたかという点に、とりわけ留意すること。解答では、下記の諸事項に、随意の順序で、必ず 1 回は言及し、下線を引いて明示せよ。解答に際しては、まず問われている世紀を明記し、全体で 700 字以内で書くこと。
(東京大)

キリスト教の国教化 ファン族の西方移動 コンスタンティノーブル遷都
コロスの土地緊縛令 西ゴート族 キリスト教徒大迫害 ニケーア公會議 ドミナートゥス

((^ω^) 「おじやすー！ 内藤ホライゾンだおー」

((^ω^) 「今回も適当に引っ張ってきた実際の試験問題を解いてみるおつ。

東大だからとひるむ必要はなし！ 尺も短いささと解いちやうおwww

~~~~~

( (^ω^ ) 「まずは恒例の設問確認タイム！ あ、これ 4 世紀のことだね。それから……………」

( (;ω;) 「発展の特徴だと…………… ローマ帝国滅亡の話なのに発展とはこれいかに」

( (;ω;) 「それ以後の発展に対して与えた影響に注意しなきゃいけないみたいだおwww」

( (^ω^ ) 「うーん、そうすると少し面倒だけど、①帝政後期に起こったことを上手くまとめて、  
②滅亡後はどうなったのかを書いてオチをつければ良さそうだお」

( (\*ω\*) 「指定単語を見る限り、皇帝ごとに書いていくとキチンとまとまりそうだお！」

~~~~~

ドミナートゥス キリスト教徒大迫害

((^ω^) 「これらは確かディオクレティアヌスがやったことだったお」

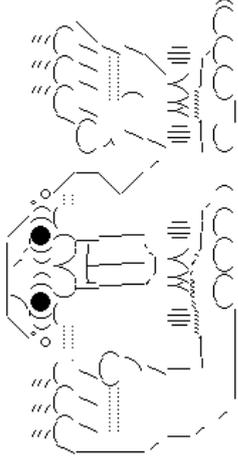
((^ω^) 「彼は軍人皇帝時代の混乱を収拾した人で、
皇帝を神様みたいに偉くしてローマ帝国をまとめようとした皇帝だったはず」

((#ω#) 「だから従わないキリスト教徒を弾圧したんだお！ 汚物は消毒だ〜！！」

ニケーア公會議 コロスの土地緊縛令 コンスタンティノーブル遷都

((^ω^) 「えーつと、それでも確かキリスト教は蔓延していったんだお。
だからコンスタンティヌスは諦めて、ミラノ勅令でキリスト教を公認したんだお！」

((;ω;) 「そしてニケーア公會議だけど、これはキリスト教の正しい教えを定めたものだお。
とりあえず今のところは、やる夫がやらない夫を叩き出したもんだと思ってくれお」



< アリウス派ざまあwww
三位一体が正統に決まってるおwww

← 正統と決まったアタナシウス派

((;ω;) 「ちなみに叩き出されたやらない夫はゲルマン人に布教をしていったために、
後タローマ教会のやる夫とすぐく対立することになったり……………」

((^ω^) 「あれもこれも、全てはローマ帝国のまとまりを維持するためのこと。
この後キリスト教はどんどん広まって、最後は国教になっていくんだお」

((*ω*) 「次！ コロスの土地緊縛令だお！ これは土地と人間をセットにした命令でしたお」

((^ω^) 「これは中世になると農奴制ってのに成長するんで、ここを指摘しとけば良さそうだお」

((;ω;) 「あとはコンスタンティノーブル遷都か…………… 何書けばいいんだろ」

((;ω;) 「ビザンツ帝国の首都になったことと、西方への影響力の減少を書けばいいのかな」

~~~~~

キリスト教の国教化 ファン族の西方移動 西ゴート族

( (^ω^ ) 「これらはテオドシウスの頃に起こったことでしたお」

( (;ω;) 「厳密に言うとゲルマン人の大移動は少し前の話だけど、ここで扱っちゃいましょう」

- ( ^ ω ^ ) 「4世紀後半にやってきたフン族は、元々住んでいたゲルマン人を押し出して……………」
- ( ^ ω ^ ) 「追い出された西ゴート族は375年に大規模な移住を始めたんだっただお」
- (\* ^ ω ^ ) 「他のゲルマン人も同じようにローマ帝国の西部に移住していたし、後で勝手に自分の国を作ってしまうから帝国のまとまりが失われたと書けそうだお！」
- ( ^ ω ^ ) 「こうして分裂したローマ帝国をまとめるために、テオドシウスはキリスト教を国教化——つまりキリスト教を人々に強制したんだお」
- ( ^ ω ^ ) 「その結果キリスト教はローマ帝国中に広がっていい感じに書けるはず！」  
コンスタンティヌスの公認と同じ流れで書くといい感じに書けるはず！」
- ~~~~~
- ( / ^ ω ^ ) 「あとは最後のオチを書くだけだお！ **滅亡後はどうなったのかを意識すると……………」**
- ( ^ ω ^ ) 「まずはキリスト教が広まったことは見過ごせないお。  
どう考えても次の中世はキリスト教が中心の世界になってるお」
- ( ^ ω ^ ) 「次はローマの制度も地味に残っていることも挙げられるお！  
コロナートゥス→農奴制もあるけど、そういうや“皇帝”もローマの制度だったしね」
- ( ; ^ ω ^ ) 「あとはゲルマン人の影響も書きたい方がいいかもしれんお。  
特に西ローマ帝国の領域にはゲルマン人の国家が成立するから大事だお」
- ( ^ ω ^ ) 「キリスト・ローマ・ゲルマンの3つがそなわり最強に見える！  
西ローマの領域ではこれらが混じって新しい文化へと発展していったんだお」
- ( ^ ω ^ ) 「ちなみにこれらを混ぜ合わせた結果が800年のカール戴冠だったりします。  
もしかしたら東大はここを意識して解答してほしいかもね」
- ( ; ^ ω ^ ) 「……あ、そうそう。東ローマはギリシア人に受け継がれたのもあったお。  
西はゲルマン、東はギリシアで対比させるときれいに取まるかもしれんね」
- ( ^ ω ^ ) 「あとは適当に繋げて書いてって……………スンスンスト」

>>1の解答

4世紀である。ディオクレティアヌスは混乱していたローマ帝国の統一を維持するため、皇帝を神格化し権力を集中させるドミナートゥスを創始したが、混乱した世情を背景に増加していたキリスト教徒は皇帝を崇拜しなかつたため、彼によるキリスト教徒大迫害を招く事になった。だがそれでもキリスト教は拡大を続けたので、コンスタンティヌスはこれを公認して帝国の統一に役立てようと考へ、ニケーア公会議を開いてアタナシウス派による教義の統一を図るに至った。しかしこの結果異端とされたアリウス派はゲルマン人への布教を目指したため、後代における対立の火種となった。また彼は徴収を確保するためロススの土地緊縛令を出し、土地と小作人を一体として扱った。これにより小作人は地主への隷属を深めていき、後の農奴制へと発展していった。他にも彼はコンスタンティノーブル遷都を行って帝国の中枢を東へと移したが、これは東欧におけるビザンツ帝国の興隆を準備する一方で、西欧でのローマ帝国の統治力を弱めることになり、後にゲルマン人の侵入を許す事となった。その後テオドシウスの頃、フン族の西方移動を契機にゲルマン人の大移動が激化すると、西部を中心にゲルマン人の勢力が拡大し帝国の分裂傾向は決定的となった。彼はキリスト教の国教化を行って統一の維持を図ったが、最終的に帝国は東西に分裂した。続く西ローマ帝国も混乱のうちに滅亡し、跡地には西ゴート族などのゲルマン人の部族国家が形成されるが、その中で古代ローマ・キリスト教・ゲルマン人の文化は次第に混交し、ギリシア人に継承されたビザンツ帝国とは異なる、キリスト教を中心とした西歐文明が形作られていくのである。(698字)

- ( ; ^ ω ^ ) 「そんな訳でできあがった解答がこちら！」
- ( ; ^ ω ^ ) 「やべー、流石に700字もあとまとめて書くのが大変だおwww」
- ( ^ ω ^ ) 「まあ>>1の解答が正解って訳でもないんで、どんどん自分なりの答えを考えてみるお」
- ( ; ^ ω ^ ) 「ちなみにこの手の問題は、過不足なく書くことびったり収まるように作られています。  
だから字数はあんまり気にしないで書いて大丈夫だお。教授連中も優しいよねwww」
- ~~~~~
- ( ^ ω ^ ) 「今回のポイントは、**ローマ末期の状況を指摘した上で、その後の世界にとってローマがどんな意義を持っていたかを書けるかどうかでした」**
- ( ^ ω ^ ) 「本編にも書いたとおり、ローマは完全に滅亡してしまっただ訳ではなくて、ちゃんとその後の世界にも引き継がれている訳ですが……………」
- ( ^ ω ^ ) 「じゃあどうやって引き継がれたの？ってのを理解するのが、中世の大事な部分です」
- ( ^ ω ^ ) 「その解説は中世西洋史でやりますおー！ それでは次回もお楽しみに！」